

2019 年度日本農業経済学会第 1 回理事会議事録

日時：2020 年 5 月 27 日（水）～31 日（日）

於：メールによる稟議（新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時措置）

出席（敬称略）：

会長・副会長（5）

草苺仁（会長），堀田和彦（副会長（総務）），山本康貴（副会長（編集）），南石晃明（副会長（企画）），櫻井武司（副会長（国際））

役付常務理事（10）

西川邦夫（会長補佐），草野栄一（総務），関根久子（学会賞・国内学術交流），原田淳（財務），角田毅（情報），安藤光義（和文誌編集），梅津千恵子（英文誌編集），栗原伸一（企画），木島陽子（国際），井元智子（開催校，東北）

地区担当常務理事（7）

黒瀧秀久（北海道），槇平龍宏（中部），酒井富夫（北陸），多田稔（近畿），保永展利（中国），胡柏（四国），大呂興平（九州）

理事（19）

窪田さと子，平石学，新田義修，伊丹一浩，大山 利男，岡通太郎，加藤衛弘，高橋巖，高橋克也，山崎亮一，成耆政，中島亨，古澤慎一，足立芳宏，藤本高志，井上憲一，大室健治，新保輝幸，吉川好文

欠席：無し

事務局：共立

1. メールによる臨時の理事会開催について

理事会に先立ち，第二回常務理事会（第 1 段階稟議）において，緊急時の対応として，理事会の決定をもって 2021 年度の総会開催まで暫定的に学会の運営を図り，次回総会開催時に暫定運用についての承認を得ることが決定されていた。理事会では，第二回常務理事会（第 2 段階メール稟議：5 月 21 日（木）～25 日（月））での審議結果を受けて，以下の事項について書面で報告がなされ，審議の結果，承認された。

2. 企画委員会より，2020 年度大会の中止，及び個別報告の件数が報告された。また，2021 年度大会は茨城大学で開催することが報告された。

3. 編集委員会より、学会誌に関連する諸事項について報告があった。投稿採択状況についての紹介の後、退任及び新任の編集委員が紹介された。

4. 情報担当より、2019年度の情報公開の取り組みが報告された。『農業経済研究』89巻、91巻1・2号（早期公開）及び英文誌JJAE Vol. 21の論文がJ-STAGE上で公開されたことが報告された。また、学会HPのリニューアルの必要性について、並びに学会誌からの転載依頼に対する学会としての対応方針の検討の必要性について報告された。

5. 国際委員会より、国際交流に関する取り組み状況が報告された。新型コロナウイルス感染症拡大のため、2020年8月に開催が予定されていたアジア農業経済学会・北京大会が、年末ないし2021年初頭へ延期されたことが報告された。また、2020年7月に開催予定だった韓国農業経済学会における韓日シンポジウムを中止し、2021年に実施することが報告された。

6. 学会賞・国内学術交流担当より、日本農学会2019年度シンポジウムにおいて吉田謙太郎会員が講演を行ったこと、総会及び企画・運営委員会が開催されたことが報告された。また、日本経済学会連合と日本学術会議・第二部に関する活動や、2020年3月に開催予定であった農業経済学会関連学会協議会及び関連学会編集委員長会議については、すべて中止されたことが報告された。

7. 連携委員会より、2020年度東北大学大会中止のため、予定されていた特別シンポジウムも中止となったことが報告された。

8. 総務担当より、2019年度の会議開催状況、会員数動向、退任及び新任の総務担当常務理事が報告された。また、東北大学大会中止に伴い、希望者には個別報告実施証明書を送付することが報告された。関東地区理事会構成校から選出されていた総務担当常務理事のローテーションについては、2巡目終了以降は廃止し、総務担当副会長の責任の下で地域に囚われずに選出する方向で、次期体制への引き継ぎ事項とすることが報告された。また、『農業経済学事典』の契約を行ったこと、学会の財務体質改善、及び地区選任理事の選出方法の改善の必要性について報告された。

9. 大江靖雄会員、小田滋晃会員、坂下明彦会員が名誉会員として推薦され、了承された。

10. 財務担当より2019年度決算（案）が示され、審議の後、承認された。2019年度決算の監査結果が報告された。また、2020年度予算（案）が示され、審議の後、承認された。

11. 総務担当より、2020年度の会長指名理事候補者5名と監事候補者2名が報告され、承認された。
12. 編集委員会より、「農業経済研究」投稿規程の改正が提案され、承認された。
13. 連携委員会より、連携委員会規程の改正が提案され、承認された。
14. 国際委員会より、日韓学術交流協定の改正（細則の制定）が提案され、承認された。また、アジア農業経済学会大会への10万円拠出が提案され、承認された。
15. 学会賞の選考結果について報告があった。学術賞として、①李哉法会員による「EU青果農協の組織と戦略」（日本経済評論社、2019年）が選ばれ、理事会で承認された。また、学会誌賞として、①李哉法・森嶋輝也・清野誠喜会員による「組織再編のプロセスから見た欧州農協の展開構造—スペイン・アルメリアの野菜農協のケース・スタディー」（『農業経済研究』第91巻第2号掲載）、並びに②柘植徳雄会員の「経済理論の展開と農業」（『農業経済研究』第91巻第3号掲載）が選ばれ、承認された。

以上.